

古橋ともき 議会通信 第4号

[討議資料]
かすみがうら市
上稲吉1839-2
TEL0299-59-2077



国保税資産割を24.8%減 固定資産税との二重課税解消へ前進

23年度予算案を議会修正可決

3月11日の東日本大震災による被害につきまして、心から御見舞いを申し上げます。さて、かすみがうら市議会平成23年第1回定例会が、3月1日から24日までを会期に開催され、会期中の震災により議案審議が中断しましたが、一部除き重要議案を採決しました。最も柱となる一般会計予算は、宮嶋市長による予算提案に対し、削減額や予算科目計上の修正を行い、議員提案により可決されました。

国保税率改正で公平をより確保

宮嶋市長の選挙公約で掲げていた国民健康保険税の大幅値下げが、この定例会で国保税率改正として提案され、古橋ともきは、文教厚生委員会委員長として、この議案審査を行いました。

国保税率には、所得や資産に応じた税率(通称、応能割)の割合と加入者数や世帯数で均等に割った税額(通称、応益割)がありますが、元来、平等な計算とは、国民年金を例に世帯数等で額を均等に割り出すことが普通の考えです。しかし、健康保険制度は、相互扶助するこの社会において、所得の高い方が、所得の少ない方を支える相互扶助の国方針があり、当市はその応能と応益の割合の指針1:1に対し、他市町村に比べて所得や資産に応じた税率(応能割)割合が高いとされてきました。

古橋ともきは、その改善点として国保税資産割の解消を求めて参りました。今回の国保税率改正の提案が、改善方針に大きく歩み寄り、公平性をより確保している点から認められる提案として賛成し、可決されました。そのため、従来为国保税が低額であった一部の方は、税額が上がる場合があります。宮嶋市長は、この税率改正が資産割大幅減を含め、応能と応益の割合を是正し、国保税の平均額が近隣市町村並みになることで、選挙公約を果たしたと委員会において明言しました。

火葬は心静まる環境整備が必要

石岡地方斎場組合が、現在の老朽化した火葬場を新たに移転して建設する計画について、宮嶋市長が組合副管理者の立場でありながら建設縮小の修正を提案したことから、石岡市と小美玉市との建設計画が滞っており、当市議会では、その計画推進を求めて賛成多数により決議されました。古橋ともきは、火葬炉の稼働率重視の市長提案や反対討論に対し「(故人を)ベルトコンベアのような火葬場に角送りできない」と火葬場の静まれる環境が必要として賛成討論を行いました。また、宮嶋市長は修正計画が協議中であることを理由に火葬場関連予算を予備費計上としたことから、議会は、23年度一般会計予算の修正案の中において、その関連予算を法令に定めた項目で再計上し、議会修正で可決しました。

古橋ともきが推進した交通道路の改良

▼稲吉2・3丁目と稲吉南1丁目境の県道戸崎上稲吉線と市道との交差点(魚清さん付近)の点滅信号を通常の信号機に切替え



▼稲吉2丁目の県道牛渡馬場山土浦線と市道とのT字交差点(東和カメラさん前)の隅切り道路改良

